

映画シンポジウム：アジアを知る 『ナディアの誓い』

On Her Shoulders

美容院を開くことを夢見ながら、イラク北部の小村で暮らしていたナディアの人生は、2014年の夏、武装組織ISISの襲撃によって大きく狂いはじめた。ヤズィディ教徒であるという理由で、村の男たちは虐殺され、女性と子供は連行された。他の多くの女性たちと同様に、ナディアも、母や兄たちを失い、自身はISIS戦闘員の奴隷として売買され、交換された。憤ましいながらも満ち足りたかつての暮らしぶり、すべてを突然失い、残忍な暴行に耐えるしかなかった日々、そこからの脱出までの彼女の経験は、手記『The Last Girl』（東洋館出版社、2018年）にも綴られている。

本作は、ISISの捕縛を逃れ、ドイツに移住した後のナディアの日々を描いたドキュメンタリー映画である。彼女は世界に向けて、自身の被害経験を語り、同胞や同じ被害に苦しむ人々への救援を求めた。そうした活動の中でわかったのは、過去に受けた暴力について語ることは、いくつもの新たな暴力を呼び寄せるということであった。記憶の再現による痛みや苦しみ、セカンドレイプ、被害証言の消費、「あなたが発信しなければ誰が発信するのか」という重圧。彼女の肩にはあまりに多くのものがのしかかっている。

必死な思いで発信されたその声に、私たちはどう向き合い、いかに応答することができるのか。
本シンポジウムではこの問いを考えてみたい。

【上映作品】

「ナディアの誓い - On Her Shoulders」

監督: アレクサンドリア・ボンバッハ

95分/ドキュメンタリー/2018年/アメリカ

(配給: ユナイテッドピープル)

【プログラム】

14:00 開会

趣旨説明(後藤絵美・東京大学)

映画紹介(濱中麻梨菜・東京大学大学院)

14:15 上映『ナディアの誓い On Her Shoulders』

(監督:アレクサンドリア・ボンバッハ、95分、日本語字幕付き)

15:50 休憩

16:00 パネルディスカッション

語られる「ナディア」(鳥山純子・立命館大学)

『ナディアの誓い』をどう観るか(岡真理・京都大学)

「ナディア」を観る私たち—現象学からのアプローチ(小手川正二郎・國學院大学)

17:00 閉会

2.20 Sat 14:00-17:00

■参加費無料

※日本国内居住のどなたでもお申し込みいただけます。

Zoomを利用したオンライン開催

ご参加希望の方は登録フォーム (<https://forms.gle/yqbQtdQbGKbtR2hK6>) またはポスター内のQRコードより前日までにお申し込みください。

※ZoomのURLを当日正午までにe-mailアドレスにお送りします。

<主催>

・科研費新学術研究 グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて:関係性中心の融合型人文社会科学の確立 B01班規範とアイデンティティ(代表:酒井啓子)

・科研費基盤研究(A)トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文学的・領域横断的研究(代表:岡真理)

・科研費基盤研究(A) イスラム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢栄治)

・東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)

<お問い合わせ先>東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)事務局 asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp

<共催>

・東京大学 東洋文化研究所

・中東映画研究会

